

## 2026年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2026年2月5日

上場会社名 株式会社篠崎屋 上場取引所 東  
 コード番号 2926 U R L <https://www.shinozakiya.com>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 関根 雅之  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理グループ長兼経営 (氏名) 矢立 実 T E L 048-970-4949  
 企画部長兼IR室長  
 配当支払開始予定日 -  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年9月期第1四半期の業績 (2025年10月1日～2025年12月31日)

(1) 経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益		
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
2026年9月期第1四半期	835	8.2	35	8.7	35	7.8	31	51.1	
2025年9月期第1四半期	772	4.2	32	79.5	33	79.9	20	57.4	
		1株当たり 四半期純利益				潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益			
		円 銭				円 銭			
2026年9月期第1四半期		2.24			—				
2025年9月期第1四半期		1.61			—				

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円		百万円		%	
2026年9月期第1四半期	1,463		1,080		73.8	
2025年9月期	1,364		1,048		76.8	

(参考) 自己資本 2026年9月期第1四半期 1,080百万円 2025年9月期 1,048百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年9月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 0.00
2026年9月期	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —
2026年9月期(予想)	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2026年9月期の配当予想額につきましては、業績予想の開示を行っていないことから、現時点において未定とさせていただきます。配当につきましては業績予想の見通しを開示した際にお知らせいたします。

### 3. 2026年9月期の業績予想 (2025年10月1日～2026年9月30日)

業績予想につきましては、天候等の外部変動要因による業績への影響が大きく、予測が困難なため現時点での予想の開示は行っておりません。なお、情報開示につきましては既存店等の情報を月次で開示するとともに、第2四半期累計期間につきましては同第2四半期中、及び通期につきましては第4四半期中を目処に、分かり次第、速やかに適時開示をしてまいります。

#### ※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2026年9月期 1Q	14,157,780株	2025年9月期	14,157,780株
2026年9月期 1Q	一株	2025年9月期	一株
2026年9月期 1Q	14,157,780株	2025年9月期 1Q	14,157,800株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績見通し等の前提となる仮定及び業績見通し等のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料3ページ、「(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」を参照してください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6
(セグメント情報等の注記)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当社は、消費者にとって価値のある商品づくり、人づくり、店づくりを目指し、「よりいいものをより安く」提供し、「三代目茂蔵」のブランド力を強化・確立することで、売上高及び利益の向上を図ってまいります。

当第1四半期累計期間において、商品につきましては、引き続き「健康」をキーワードに「茂蔵オリジナル商品」を強化し、物価高騰の今後の対策として、顧客数の確保を第一に取り組んでまいりました。

当第1四半期累計期間の売上高は835,238千円（前年同四半期比8.2%増）、営業利益は35,026千円（前年同四半期比8.7%増）、経常利益は35,944千円（前年同四半期比7.8%増）、四半期純利益は31,646千円（前年同四半期比51.1%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

#### (小売事業)

当セグメントにおいては「よりいいものをより安く」をコンセプトに「三代目茂蔵」ブランドのクオリティ向上を推し進めております。当第1四半期累計期間におきましては、新規顧客の獲得、「茂蔵オリジナル商品」の開発強化及び、利益率の見直しに努めました。具体的には季節商品・菓子類等を中心に店頭商品を最重要商品と位置づけ店頭セール等による新規顧客を確保しながら、商品単価の見直し、定価販売率の向上に努めてまいりました。

これらにより1店舗平均の顧客数は前年同四半期比103.0%となり、時間帯別では開店から14時までは同104.4%、14時から17時までは同105.7%、17時から閉店までは同97.4%となりました。また、顧客購入点数につきましては大量陳列による衝動買い促進などにより同102.6%となりました。

店舗につきましては、リモート会議にて販売スタッフとの情報共有を徹底し、臨店による運営状況の確認、指導を行うことにより1店舗あたりの生産性向上を目指しました。

以上の結果、小売事業の売上高は754,835千円（前年同四半期比9.6%増）となりました。セグメント利益（営業利益）につきましては、最低賃金の上昇による人件費の増加が影響しており67,678千円（前年同四半期比5.7%減）となりました。

#### (その他事業)

その他事業は、小売加盟店及び業務用得意先への卸売事業並びに通販事業であります。

その他事業の売上高は80,403千円（前年同四半期比3.6%減）、セグメント利益（営業利益）は5,211千円（前年同四半期比7.1%減）となりました。

なお、当第1四半期累計期間の出店状況は、次のとおりであります。

(単位：店)

		前事業年度末 店舗数	増加	減少	当第1四半期末 店舗数
小売事業	「三代目茂蔵」（直営店）	30	—	—	30
その他事業	「三代目茂蔵」（加盟店）	389	6	8	387
合計		419	6	8	417

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期会計期間末における資産の残高は、前事業年度末と比較して99,144千円増加し1,463,904千円となりました。主な要因は、現金及び預金の増加75,292千円及び売掛金及び契約資産の増加29,574千円、長期未収入金の減少9,402千円等によるものであります。

(負債)

当第1四半期会計期間末における負債の残高は、前事業年度末と比較して67,497千円増加し383,548千円となりました。主な要因は、買掛金の増加79,864千円、未払法人税等の減少15,149千円及び未払金の減少5,858千円等によるものであります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産の残高は、前事業年度末と比較して31,646千円増加し1,080,355千円となりました。これは四半期純利益31,646千円の計上により利益剰余金が31,646千円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、天候等の外部変動要因による業績への影響が大きく、予測が困難なため現時点での予想の開示は行っておりません。なお、情報開示につきましては既存店等の情報を月次で開示するとともに、第2四半期累計期間につきましては第2四半期中、及び通期につきましては第4四半期中を目処に、分かり次第、速やかに適時開示をしてまいります。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2025年9月30日)	当第1四半期会計期間 (2025年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流动資産		
現金及び預金	609,657	684,949
売掛金及び契約資産	62,905	92,480
商品及び製品	46,715	59,874
原材料及び貯蔵品	2,757	2,423
その他	68,458	57,854
貸倒引当金	△40	△50
流动資産合計	790,454	897,531
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	29,227	28,478
構築物(純額)	2,256	2,115
工具、器具及び備品(純額)	9,820	10,573
土地	189,970	189,970
その他(純額)	918	2,764
有形固定資産合計	232,193	233,901
無形固定資産	2,370	2,121
投資その他の資産		
敷金及び保証金	104,538	104,538
長期未収入金	235,050	225,648
その他	243	243
貸倒引当金	△90	△80
投資その他の資産合計	339,741	330,349
固定資産合計	574,305	566,372
資産合計	1,364,760	1,463,904
<b>負債の部</b>		
流动負債		
買掛金	187,584	267,449
未払金	63,291	57,432
未払費用	37,103	42,128
未払法人税等	20,277	5,128
その他	3,093	6,709
流动負債合計	311,350	378,848
固定負債		
長期預り保証金	4,700	4,700
固定負債合計	4,700	4,700
負債合計	316,050	383,548
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	120,340	120,340
利益剰余金	△71,630	△39,984
株主資本合計	1,048,709	1,080,355
純資産合計	1,048,709	1,080,355
負債純資産合計	1,364,760	1,463,904

## (2) 四半期損益計算書

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)
売上高	772,198	835,238
売上原価	531,249	574,960
売上総利益	240,949	260,278
販売費及び一般管理費	208,716	225,251
営業利益	32,232	35,026
営業外収益		
受取利息	967	869
受取賃貸料	2,455	2,455
その他	123	61
営業外収益合計	3,546	3,386
営業外費用		
賃貸費用	2,432	2,450
その他	0	17
営業外費用合計	2,432	2,468
経常利益	33,345	35,944
特別利益		
固定資産売却益	—	40
その他	—	10
特別利益合計	—	50
特別損失		
減損損失	6,611	611
店舗閉鎖損失	2	—
固定資産除却損	—	485
特別損失合計	6,613	1,096
税引前四半期純利益	26,732	34,897
法人税、住民税及び事業税	5,782	3,251
法人税等合計	5,782	3,251
四半期純利益	20,950	31,646

## (3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費及びその他の償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費及びその他の償却費	2,068千円	3,426千円

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期累計期間(自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期 損益計算書 計上額 (注2)
	小売事業	その他事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	688,760	83,438	772,198	—	772,198
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	688,760	83,438	772,198	—	772,198
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	688,760	83,438	772,198	—	772,198
セグメント損益	71,749	5,610	77,359	△45,127	32,232

(注) 1. セグメント損益の調整額△45,127千円は各報告セグメントには配賦していない全社費用であります。全社費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント損益は四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「小売事業」セグメントにおいて、不採算店舗のうち今後も収益改善の可能性が低いと判断した店舗について、6,611千円の減損損失を計上しております。

## II 当第1四半期累計期間(自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期 損益計算書 計上額 (注2)
	小売事業	その他事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	754,835	80,403	835,238	—	835,238
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	754,835	80,403	835,238	—	835,238
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	754,835	80,403	835,238	—	835,238
セグメント損益	67,678	5,211	72,890	△37,864	35,026

(注) 1. セグメント損益の調整額△37,864千円は各報告セグメントには配賦していない全社費用であります。全社費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント損益は四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「小売事業」セグメントにおいて、不採算店舗のうち今後も収益改善の可能性が低いと判断した店舗について、611千円の減損損失を計上しております。